ルネ・クレール

Rene Clair

生年月日 1898/11/11
出身地 フランス／パリ
没年 1981/03/14

【バイオグラフィ】

■本名はRene Chomette。詩や戯曲を手掛けていたが、友人の誘いで映画に出演、演出に興味を抱くようになる。２２年にブリュッセルで映画技法を学んだ後、２３年に「眠るパリ」を発表して監督デビューした。３０年にトーキー作品「巴里の屋根の下」では独創的な音の使用で話題となる。誌上と風刺に溢れる作品を撮り続け、３５年にイギリスに渡り作品を２本発表、第二次世界大戦では戦火を避けてハリウッドへ渡る。渡米中に撮った「そして誰もいなくなった」は、クレール節は感じられないものの、アガサ・クリスティー映画化作品の最高傑作となった。

【フィルモグラフィ】

フランス女性と恋愛（1960）	監督
ルネ・クレールの 喜劇の黄金時代（1959）	監修
喜劇の黄金時代（1957）	監修
リラの門（1957）	監督,脚本,製作
夜の騎士道（1955）	監督,脚本
夜ごとの美女（1952）	監督,脚本
悪魔の美しさ（1949）	監督,脚本
沈黙は金（1946）	監督,原作,脚本
そして誰もいなくなった（1945）	監督,脚本
ルネ・クレールの 明日を知った男（1944）	脚本,監督
提督の館（1943）	監督
奥様は魔女（1942）	監督,製作
焔の女（1941）	監督
幽霊西へ行く（1935）	監督
最後の億萬長者（1934）	監督,脚本
巴里祭（1933）	監督,脚本
ル・ミリオン（1931）	監督,脚本
自由を我等に（1931）	監督,脚本,台詞
ミス・ヨーロッパ（1930）	脚本
巴里の屋根の下（1930）	監督,脚本
イタリア麦の帽子（1927）	監督
幕間（1924）	監督,脚本
眠るパリ（1923）	監督,脚本

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.